

## 住所の自動入力

郵便番号と住所のフィールドに<住所入力支援>プロパティを設定すると、郵便番号から住所、または住所から郵便番号を自動的に入力することができ、住所入力の手間を軽減することができます。

## キーポイント) 住所入力支援

店舗郵便番号	店舗住所1	
530-0001	大阪府北区梅田	22-9-1
730-0853	広島県広島市中区堺町	51-2-4
810-0063	福岡県福岡市中央区唐人町	15-6-6
233-0003	神奈川県横浜市港南区港南	

フィールド「店舗郵便番号」に対応する住所を、フィールド「店舗住所1」に自動的に表示します。

## 1 郵便番号から住所を入力するための設定を行う

Memo  
<住所入力支援ウィザード>の起動

住所入力支援を設定する<住所入力支援>プロパティは、<住所入力支援ウィザード>で設定することができます。  
<住所入力支援ウィザード>を起動するには、右の手順に従います。

テーブル「店舗」をデザインビューで表示しています。

1 フィールド「店舗郵便番号」にカーソルを移動して、

2 <住所入力支援>にカーソルを移動し、

3 このボタンをクリックすると、

4 <住所入力支援ウィザード>が起動します。

5 このボタンをクリックして、

住所入力支援ウィザード

このテーブルで郵便番号、住所、カスタム バーコード データの入力を支援するための設定を行います。入力先には必ずテキスト型のフィールドを指定してください。

郵便番号: 182-0021

住所: 東京都調布市調布ヶ丘

郵便番号:

カスタム バーコードを入力するフィールドを指定してください。カスタム バーコードは、郵便番号と住所の両方が入力されると、自動的に生成されます。

カスタム バーコード データを入力する

バーコード データ:

キャンセル <戻る(B)> 次へ(N)> 完了(E)

6 郵便番号を入力するフィールドを選択し、

店舗ID
店舗名
店舗区分ID
店舗郵便番号
店舗住所1
店舗住所2

7 <次へ>をクリック。

8 住所の分割方法を選択して (P.66のMemo参照)、

9 このボタンをクリックし、

住所入力支援ウィザード

住所を入力するフィールドを指定してください。住所のフィールドは、4つまで分割して指定できます。住所の構成を選択すると、必要なフィールドと入力データの例が表示されます。

住所の構成

分割なし

住所と建物名の2分割

都道府県と住所の2分割

都道府県、住所、建物名の3分割

都道府県、市区郡、住所の3分割

都道府県、市区郡、町村域、建物名の4分割

住所:

東京都調布市調布ヶ丘 1-18-1  
マイクログラフト調布技術センター

キャンセル <戻る(B)> 次へ(N)> 完了(E)

10 住所を入力するフィールドを選択して、

店舗ID
店舗名
店舗区分ID
店舗住所1
店舗住所2

11 <次へ>をクリック。